

第5次幸手市総合振興計画案 パブリックコメント結果概要及び市の考え方

第5次幸手市総合振興計画案に関する市民意見の募集は、平成20年12月19日～平成21年1月19日まで実施しました。寄せられた意見の概要と市の考え方等を次のとおり公表致します。

1. 結果概要

(1) 提出者数 19人

内訳

	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	1	0	5	7	3	16
女性	0	1	1	1	0	3
合計	1	1	6	8	3	19

(2) 提出件数: 37件

内訳

	件数
全般	2
基本構想	22
基本計画	13
合計	37

2. 意見と回答

(1) 全般

NO.	性別	年代	ページ	意見の概要	市の考え方等
1	女	40代	-	3か年の実施計画や分野ごとの計画の達成経過は、市民にどのように知らされているのでしょうか？5年後に目標値に達していませんでした、ということのないように、途中経過を公開する方法を明記していただきたいと思います。	基本計画「7-1 計画的な行政運営」の〔成果指標〕及び〔施策の内容〕「1 施策の進捗管理・評価」において、行政評価制度の導入を図っていきます。途中経過等については行政評価制度を導入・毎年度運用することで、公開していきたいと考えています。
2	女	40代	-	市の財政が困窮する中、百花繚乱的な基本計画になってほしくない、前期5年間で、このいくつかを重点的にやっていきます、という市の方針を示した総合振興計画となってほしい。市民アンケートの中で、重要度が高いのに満足度が低い分野を取り組む姿勢を基本計画で示す形で作成できれば市民の関心も高まると思います。 また、財政的な裏付けはこれから各年度で、となっていくのだと思いますが、3か年とあるからには単年度ではなく3年間で予算を考えていく、ということなのでしょうか？ 今後とも行政だけに任せるのではなく、市民も参加して進行状況をチェックできる何らかの機会が必要だと思っています。	頂いた御意見の趣旨を踏まえ、各施策の中から特に力をいれて進める分野を明確にするため、基本構想に「重点施策」を設定することを検討してまいります。重点施策の推進については基本計画のそれぞれの施策の中で推進していくものとします。 実施計画については、3か年で定めるものですが、毎年度見直しを行うものですので、見直した実施計画に基づいて予算要求等がなされるものとなっています。 進行状況のチェックについては、No.1のとおりです。行政評価制度導入に際しては、市民の評価についても併せて検討してまいります。

(2) 基本構想

NO.	性別	年代	ページ	意見の概要	市の考え方等
3	男	60代	28	複合市街地ゾーンについて、幸手駅周辺の整備、出店の助成、中心街の活性化を早急に行動すべきである。また、市民の協力・市の助成による駐車場の確保、新店舗の誘致を行うべきである。	「幸手駅周辺の整備とともに、中心市街地の駐車場・・・交通環境の整備を進め、商業・サービス・居住など複合的な機能を誘導し、・・・」として駅周辺や中心市街地の活性化をすることとしています。 また、基本計画においても「3-2駅周辺の開発」、「5-3中心市街地の活性化」としてそれぞれ推進していきます。

4	男	60代	28, 29	工業系ゾーンについて、圏央道の開通、インター周辺の開発、ひばりヶ丘周辺の隣地の開発も設定すべきである。職場の確保、市財政の安定化になる。	工業系ゾーンの整備について、複数地域を同時に進めることは難しいと考えています。市では埼玉県田園都市産業ゾーン基本方針に基づいたインターチェンジ東側地域を最優先課題として捉え、整備を進めることとしています。更に、これまで住居系で利用を図ることを予定していた戸島地域を工業系に位置付けを変更しています。ひばりヶ丘周辺地域は農業振興地域農用地に指定されていること等から、現状ではこの地区も合わせて位置付けをして進めることは非常に難しいと考えています。
5	男	30代	28, 29	工業系ゾーンについて、優良企業の誘致を図り、税収と雇用の確保を期待しています。	第5次計画期間では、この2地区に優良企業を誘致し、職場の確保、市財政の安定化を図ってまいります。今後、5年後を予定している計画改訂時等に、社会経済環境や2地区の状況等を踏まえてその他の地区の位置付けについて検討したいと考えています。
6	女	60代	28, 29	国も市も財政難なので、工業団地をもっと増やしてほしい。	
7	男	60代	28, 29	幸手市の人口の減少・特に若者世代の他市への流出・高齢者の増加・ドーナツ化現象による地元商業者の衰退などの現況を踏まえ、上高野地区における新市街地系ゾーンにおける若者と高齢者が快適に生活できる自然と調和のとれた人口の増加に繋がる住宅の建設、その中に地元商業者と連携のとれた商業施設の配備をお願いしたい。 市条例により開発を進めていただきたい。	新市街地系ゾーンについては、人口増加施策の一つとして、近年市街地調整区域で個別の住宅建設が進んでいることや、国道4号等主要道路に周囲を囲まれ、また、市街化区域に隣接しており、今後土地利用のニーズの高まりが予想されること等を踏まえ、計画的に整備された地域に新規住宅等を立地させ、自然環境・居住・農業・商業が調和した土地利用による人口の増加を図る目的から位置付けたものです。 頂いた御意見の趣旨を踏まえ、上記の趣旨をより明確にするため、「商業・農業居住地区が共生した」を「さらに、一般住宅、農家住宅と商業とが調和し共生した」と修正することを検討してまいります。
8	男	70代	28, 29	幸手市においては人口が毎年減っています。住居系ゾーンを増やし人口増を考えていくべきです。上高野地区においては、商業施設や病院、小学校、公民館等があり、住み良い街になるでしょう。	また、このゾーンは今後の社会環境への柔軟な対応が可能となるように、「新しい市街地の形成の検討」を図っていくとするもので、このため事業時期、手法、面積規模等は未定です。具体的な計画・整備の実現に当たっては、都市計画法等関係法令や地元住民の意向、既存商業者等関係団体との調整等を図りながら計画的な整備を行っていきます。また、条例等についても必要に応じて対応を図りたいと考えています。
9	男	60代	28, 29	人口減の続く当市にとって居住地域の開発は最優先課題と思う。新市街地系ゾーンは住居と商業地域を上手くマッチング出来ると考えますが、現況の交通渋滞と環境を考えるとこれ以上大きな商業施設は無用であり、反対です。住居と商業スペースそして緑地とがバランスの取れたまちづくりが良いと考えます。	新市街地系ゾーンの趣旨は上述のとおりです。頂いた御意見の趣旨を踏まえ、No.7・8に記載のとおり修正する方向で検討してまいります。 この地域は国道4号、県道さいたま幸手線その他、圏央道の側道に当たる都市計画道路三ツ家・慶作線や、圏央道と交差する都市計画道路杉戸幸手栗橋線に囲まれており、交通の利便性は今後向上すると考えています。
10	男	60代	28, 29	本構想の新市街地構想は現在同地域には、エムズタウン・ジョイフル・カワチ等の大型商業施設がすでに集積しています。また4号線を東北に延びる一本の線だけです。土日祝の道路の混雑に拍車をかけています。この構想はまさに大型店優遇と言われかねません。市内の旧4号線沿線を含め、個人商店が寂れてしまいます。 市民の意見を聞いて、活気ある幸手市の未来を描き、市から流出することなく「住んでみたい」と言われる明るいプランを市担当者に見てもらいます。	また、杉戸高野台駅周辺をという御意見についてですが、土地利用構想の段階ですので、円で位置付けをした区域周辺と考えているもので、具体的な整備区域等を定めているものではありません。今後、区域等について頂いた御意見を踏まえて検討してまいります。 更に、旧4号沿いの商店街を含む中心市街地については基本計画「5-3中心市街地の活性化」として商店街の環境整備や活性化事業を推進してまいります。

11	男	60代	28、29	新市街地系ゾーンについて、上高野地区に商業、住宅地ゾーン、杉戸高野台駅よりの開発を早急に行うべきである。駅近くの商店街の育成、住宅地の造成による新住民の確保、農地にて広い宅地の確保の提供を行い、豊かな生活が楽しめる街とする。今回の商業地は駅に遠く住民に便利ではない。大型店舗も近隣に多くあり、必要ないと思う。
12	男	30代	28、29	新市街地系ゾーンではなく、もっと杉戸高野台駅近くに住宅地・商店街を作るべきだと思う。また、駅近くに商店があった方が便利であり、街も活気づくと思う。今回の新市街地系ゾーンは駅より遠いので魅力ある静かな住宅街が望ましい。
13	男	70代	28、29	この小さな街にこれ以上の大型店は絶対に必要ないと思います。
14	男	60代	28、29	新市街地系ゾーンについて、幸手市は人口減少に加え、高齢者の割合が増加する中、大型店を含め商業施設は十分以上にあると思います。そんな折、新たに郊外に新市街地ゾーンを計画することは将来的に逆行するものです。現在の市街地(徒歩で又は自動車で買い物ができる地域)の空洞化を防ぐ意味でも中心地を再確認していただきたい。 市は人口増加を図るべく良質な住宅ゾーンを考えるべきです。
15	女	50代	28、29	新市街地系ゾーンの見直しをしてください。ショッピングモールなどの大型店は近くの町に次々とできていて「そのうちどこかが潰れるのでは」という声も囁かれている時にその後を追いかけるのはどうかと思う。 もっと先を見て、例えば、100%バリアフリーの新しい町をつくり、病院なども誘致し、定年後移り住み「人生最後は幸手で暮らす」ことができるようにするべき。農地も残し、農業体験もでき、いざとなったら介護サービスも受けられるシステムにしておき、一人暮らしでも不安なく生活できる街とするのはどうでしょうか？
16	女	60代	28、29	新市街地系ゾーンに近い所は今現在交通難なので円滑な流れになるように場所を考えてほしい。
17	男	50代	28、29	市南部に新市街地系ゾーンが設けられておりますが大規模商業開発を誘導する恐れのあるこのようなゾーンの設定は、中心市街地に大きな影響を及ぼしかねない表現の土地利用構想は大変危険でこれまでの調和有る幸手市の発展を脅かしかねないと思います。よって、同地域をこれまでの住居ゾーンとして記載されたい。
18	男	50代	28、29	今回、新市街地系ゾーンなるものが発生しておりますが、超大型商業施設誘致に向けたものであるとするならばこれまでの市民生活を破壊しかねない問題を含んだ計画と認識します。人口五万人程度の地域にとって過剰な商業施設は地域コミュニティにとって一時的な賑わいをもたらすもののこれまでの幸手市固有の文化や生活を根底から破壊しかねないと思います。 よってこの様な問題を孕む新市街地系ゾーンを廃し、住居系ゾーンとしての振興計画にされたい。

新市街地系ゾーンについては、上述のとおり新たな住居系の誘導とともに近隣住民の生活環境等も考慮して農業・商業も含めた市街地の形成の検討を図ることとする趣旨によるもので、No. 7・8のとおり修正を検討してまいります。
具体的な整備計画等は今後の社会情勢等を見極めながら検討を進めるもので、頂いた御意見を尊重しながら検討してまいります。

19	男	50代	28、29	上高野地区に計画されます新市街地系ゾーンにつきまして意見を述べます。基本計画にもあります圏央道開通後、幸手市発展の大きなチャンスであると思いますが、上高野の新市街地としての位置付けは市南部に偏った位置に偏在しているのではないかと思います。 コンパクトで効率的な行政サービスを望む市民が多い中、これまでの中心市街地とは別建ての新市街地の指定は不要と考えます。よって新市街地系ゾーンは廃止し、引き続き住居系ゾーンとして振興されたい。	
20	男	50代	31、35	倉松川を魚が泳げて、市民が散歩のできる河川として保全することとすべきである。	倉松川の水質保全・遊歩道整備は、基本計画「1－1環境にやさしいまちづくり」、「3－5 水と緑の環境づくり」により、それぞれ公害対策やふれあい散策路の整備を推進してまいります。
21	男	60代	28、29	先に実施された市長選挙において市長が配布した選挙用パンフレットの中に圏央道インターチェンジから幸手駅を繋ぐアクセス道路を設けるとの計画が選挙公約として掲げられ、多くの市民の知るところとなっている。 今回計画案の中では該当する個所にその事が全く記述されていないのは市長の上記選挙公約に賛同して投票した多数の市民の期待を真っ向から裏切るものであり、納得出来ない。	御意見頂いた幸手駅から圏央道インターチェンジを繋ぐ道路については、土地利用構想図に、検討路線とし表記しています。総合振興計画は市の全体の方針を示す性格のものであり、個別事業の計画を記載するものではないことから、具体的な整備についての計画等は記載されていません。幹線道路網の整備の中で、検討してまいります。
22	男	60代	28、29	土地利用構想には幹線道路整備は不可欠です。 今回圏央道ICがアスカル近くに出ると聞きましたが、第5次構想には工業団地だけでは寂しい。市民を活性化させるためには市内の整備を拡大するべきだと思います。	土地利用構想において、幹線道路の整備については、供用済、計画路線、検討路線の3種によって表現しています。 また、基本計画第3章において都市基盤分野について記載しています。総合振興計画は市の全体の方針を示す性格のものであり、個別事業の計画を記載するものではないことから、具体的な整備についての計画等は記載されていません。幹線道路網の整備の中で、検討を進めてまいります。 インターチェンジ周辺については、東側の工業団地整備を最優先課題として捉えています。その他の整備については、工業団地の整備後、社会経済環境等を踏まえ、検討してまいります。
23	男	50代	34、111～127	障がい児の人権保護の充実と対策を記述すべきである。(親が子どもに食を与えないネグレクトが多い。)	人権には、障がい者、子ども、女性、高齢者、そして同和問題など多くの課題があり、全ての人が平等に幸福な生活を送るために必要なものが人権尊重意識です。この人権意識の高揚を図ることが、今後必要であるとの認識の下、様々な啓発活動を進めてまいります。 その中で、実際の障がい児の人権保護に対しては、71ページ「2－7 障がいのある人の自立と社会参加の支援」の、障がいのある子どもに関する相談・支援の充実や、59ページ「2－1 子育て支援の充実」の、地域や団体等の連携を図ることにより児童虐待の早期発見、早期対応への取り組みを行うなど、関係各課との連携で対応してまいります。

24	男	50代	第2編 基本構想、第3章 施策の大綱、5 活力ある地域経済をおこすまち（産業分野）において、以下の提案を行います。 埼玉県商工会連合会における地域力連携拠点事業は、各機関が「つながり力」を生かした相談指導事業なのですが、その中のメニューに「農工商等連携事業」というものがあります。農水産業と商工業が連携して新しい商品やサービスを開発するというものですが、地域資源活用というプログラムとも似ています。 34ページには、それぞれの分野での施策が列記されていますが、独立した施策も必要でしょうが、それらをリンクさせた本事業なども「農工商等連携事業の推進」という観点から計画に入れたらどうでしょうか。 当然、111ページ以降の第5章にも追記が必要となりますが、国も一押しの事業であることや新規性、話題性にも繋がるかと思われます。以上、ご検討下さい。	活力ある産業の発展において、農工商の連携は必要不可欠なものであり、現在においても事業を推進するにあたり、農工商間でお互い情報提供をしながら活性化を図っているところです。 また、ご指摘のとおり今後は、「農工商連携事業」として、新たな分野設定も視野にilleて検討していくことも必要であると考えていますが、現段階の総合振興計画においては、まだそれぞれの分野の基盤をより一層確立していくことが必要であると考えているため、各施策の内容に農工商連携等の文言を追加し対応していくことを検討してまいります。
----	---	-----	--	--

(3) 基本計画

NO.	性別	年代	ページ	意見の概要	市の考え方等
25	男	60代	42	ごみの量、削減についての市民の行動のきっかけ（モチベーション）となる表現が欠けている。「費用対効果」に似た、市民が自分の家計を考えるような、市の家計（財政）について触れられないか。 例えば、「ごみの回収回数が週1回（現行2回）になれば、年間1千万円、市の家計が助かる。」など。	ごみ量の減少によるごみ処理経費削減は、必要なことと考えますが、ごみ焼却量を減らすために資源化分別を増やしますと費用が増加する傾向にあります。また、ごみ収集回数を減少させますと生ごみの臭い等で生活衛生面において市民サービスの低下になるので、モチベーション向上に繋がるかどうか難しい面があるかと思われます。 費用対効果に関しましては、基本構想の限られた紙面では、状況を説明しかねる部分もありますので、ごみ量やごみ処理経費の広報紙などでの市民の皆様への情報提供を図りたいと考えています。状況を認識してもらうことで、ごみの減量化、再資源化を促していきたいと考えています。
26	男	50代	63	医療は幸手市として重体の人も受け入れることができる病院が必要である。	御意見の趣旨は、基本計画「2-3地域医療体制の充実」の「施策の内容」①「地域医療体制の充実」、②「救急医療体制の充実」及び③「小児救急医療体制の充実」により、総合的な病院の誘致や第2次救急医療体制の充実等を進めてまいります。
27	男	50代	63	成人の献血をショッピングセンターで実施する。	献血については、基本計画「2-3地域医療体制の充実」[施策の内容]④「献血の推進」で記載しています。 ショッピングセンターでの実施については、平成20年度は、市内2ヶ所のショッピングセンターにご協力をいただき、年間5回の献血を実施（主に休日）いたしました。今後は、さらに他のショッピングセンターにもご協力をいただけるよう、埼玉県赤十字血液センターとも調整を図りながら、実施場所の拡大を図っていきたく考えております。
28	男	70代	83	東武鉄道幸手駅に上下線のホームに待合室を設けて整備する。	幸手駅舎の整備については、基本計画「3-3幸手駅周辺開発」の「施策の内容」②「幸手駅舎整備の推進」として推進していくこととしています。今後鉄道事業者と協議調整等の中で頂いたご意見の趣旨についても検討を図って参りたいと考えます。

29	男	70代	91	東武鉄道幸手駅に上下線ホームに昇降機の設置について東武鉄道に要望する。	御意見の趣旨は、基本計画「3-8公共交通機関の拡充」[施策の内容]「2 駅のバリアフリー化」に記載しています。市では、整備主体である東武鉄道に対し、財政支援等を行っていきたいと考えています。
30	男	70代	91	幸手駅に送迎用の自家用車が朝・夕バス停当りに停車している。長い時間の停車は困る。東武バスの運行を朝・夕は10分間隔にして貰う。	御意見の趣旨は、基本計画「3-8公共交通機関の拡充」[施策の内容]「3 バス路線の充実」に記載しています。具体的な本数の増加等については市民の皆様の要望等に基づきながら働きかけていくこととしています。 駅前広場の違法な駐停車の問題については、警察に取り締まりの強化を依頼していきます。
31	女	40代	102	成果指標②不登校児童・生徒の発生率の目標値を掲げることへは、疑問を持ちます。今は学校以外で、成長していく子ども達が少数ではありますが少しずつ増えています。この目標値を掲げることは学校に行く、という選択肢しかないことを表すことになります。幸手市の不登校に対する取組は高く評価されて良いと思っていますので、数値目標を掲げることは取組の現状を考えたときに無理があるように思います。不登校児を減らすことが正しい教育の在り方ではなく、一人ひとりの子どもの成長を豊かに見守っていく教育こそが時代の変化に応じた教育ではないでしょうか？よってこの数値目標の削除を希望します。	一人ひとりの子どもの成長を豊かに実現していくことは、学校教育において、大変重要な役割であると認識しています。学校が、一人ひとりの子どもや保護者との繋がり、絆を大切にしていくことから、「不登校児童・生徒の発生率」については、指標が客観的に把握でき、事業成果がわかりやすいと考えられるため、原案のまま指標とさせていただきたいと考えています。
32	男	50代	116	駅通り中心市街地として事業推進し、幸手市の魅力ある玄関として魅力ある街づくりをする。	市では中心市街地のまちづくりを進めるため、中心市街地活性化基本計画を策定しており、駅前通りもこの計画の中で中心市街地として位置付けられています。その推進については、基本計画「5-3 中心市街地の活性化」により商店街の環境整備や活性化事業を推進していきます。
33	男	70代	116	旧4号の幸手商店街通りについて、U字溝の除去、代わりに150のパイプを埋めてところどころにマンホールを埋め込む。現在の狭い歩道は不要(危険)、その代わりにタイル張りの歩道を設置する。今ある街路灯はやや暗い感じ、より明るくしたら良い。 将来的には郊外の店舗は衰退していくだろう。その前に旧来の商店街通りを活性化させ、消滅しないようインフラ整備を少しずつ計画的に実施、すぐ実行していかないと残された余裕はない。	御意見の趣旨は、基本計画「5-3中心市街地の活性化」[施策の内容]「1 商店街の魅力ある環境整備」により、安全・快適性の確保のための環境整備や魅力的な商店街の形成等について進めていきます。 また、中央通りは都市計画道路中央通り線として拡幅することが都市計画決定されています。U字溝等排水施設整備も含め、整備の主体は県になります。パイプ化については、今後県と協議しながら検討していく必要があります。
34	女	60代	116	幸手商店街をもっと良く考えてほしい。	幸手商店街を含む中心市街地については、基本計画「5-3中心市街地の活性化」の施策の内容の一つとして、その活性化の推進を図ることとしています。
35	男	50代	122	観光として桜まつりを商工会中心として実施し、商工祭りと桜まつり、市民まつりを合体させて行う。	商工まつりと市民まつりは商工会を中心に市内の市民向けの祭りとして開催し、桜まつりは、県内でも有数の桜の名所として知られている権現堂堤に市内外からの観光客を誘致することとして観光協会が中心となり開催しておりますので、今後も同様に開催したいと考えています。

36	女	40代	127	【施策の内容】「2 情報提供の推進」の中に子どもたちへの消費者教育も入れることを希望します。学校教育との関連があるので今まで進めるのが難しかったのだと思いますが、賢い消費者を育てるには小・中・高校生からの教育がとても重要です。これからの時代を考えると今まで以上にこの分野での教育は社会に出た時に必要になってくると思いますので、何らかの形で入れていただきたいと思います。	【施策の内容】「2 情報提供の推進」の「豊かな知識と正しい判断ができる消費者を育成するために…」については、学生など若年層に対する啓発を含んでいると考えています。これまで、消費者問題に関する指導を行うために講師派遣を行った中学校もある等取り組んでいます。今後も学校での取組を支援していきたいと考えています。
37	女	40代	136	現況値は平均でしょうか？ 【成果指標】①の目標値は、35%以上を希望します。どの審議会にも女性の参画を推進していくためにも「以上」とすることで登用率を確実にすることができると思います。	現況値については、各審議会等の平均を採用しています。【成果指標】の目標値については、基本計画全般に通じることですが、5カ年の目標を分かりやすく明示するために設定しているもので、その数字が達成できればそれで良いとしているものではありません。常に目標値を越えるより良い数値を達成できるように努めてまいります。